

## 平成 18 年度

### ソフトチップダーツプロ資格取得テスト

8月26日、栃木県自動車会館において、平成18年度ソフトチップダーツプロ資格取得テストを開催し、全国各地から77名の受験者が会場に集結した。

会長の挨拶から始まり、競技運営委員長から試験の流れについて説明があり、午前中に実技試験を開催した。

実技試験は、501ゲームで行い、6スロー18ダーツ以内のマスターアウト。5レグ中1レグクリアで合格という条件の中、選手たちは緊張しながらも素晴らしいダーツを投げていた。しかし中には、緊張しすぎたせいか手や足が震え思うようなダーツが投げられない選手も多数見受けられた。

午後からは、筆記試験のための講習会があり、選手たちは熱心に聞いていた。試験時間は60分、内容はダーツの基礎知識について設問や記述。100点満点中、70点以上が合格。終了時間間際になっても選手たちは必死に記入していた。

### プロ資格取得テスト合格者(45名)

2570 小笠原浩明(愛知)	2660 仲沢和明(栃木)
2855 榊泰浩(栃木)	2859 小堀裕(群馬)
2956 小林貴之(栃木)	2958 柏倉誠寿(栃木)
2960 小池輝隆(栃木)	2963 手塚武伸(栃木)
2964 戸頃満(茨城)	2965 陶永清(栃木)
2973 池田雄一(栃木)	2981 鳥飼勇一朗(千葉)
2983 小島祐二(栃木)	2986 飯野寿登(東京)
2987 瀬沼光弘(東京)	2988 湯山功(広島)
2989 松本政治(神奈川)	2991 外薗剛(埼玉)
2992 菊池一仁(埼玉)	2993 阿部喜典(埼玉)
2997 伊藤雅崇(宮城)	2999 齋藤裕(宮城)
3001 菅原広昭(宮城)	3002 高橋伸也(宮城)
3003 高橋秀一(宮城)	3004 沼田俊也(宮城)
3005 藤澤広次(宮城)	3006 森裕行(宮城)
3007 尾形正治(山形)	3008 笠原誠一朗(山形)
3009 栗原昌彦(山形)	3010 佐藤佑太郎(山形)
3011 庄司昌雄(東京)	3013 久保圭史(大阪)
3014 佐伯純(大阪)	3018 星野光正(大阪)
3019 久保拓也(兵庫)	3025 杉山宗嗣(愛媛)
3026 中島崇晴(群馬)	3027 永田紫乃(東京)
3028 藤井雅之(東京)	3029 廻洋輔(東京)
3030 丹野大春(宮城)	3032 草薙彬人(千葉)
3035 白石祐規(千葉)	

### チャリティフェスティバル

#### 第1回日本プロソフトチップダーツ選手権大会

27日は、第1回日本プロソフトチップダーツ選手権大会を開催し、プロ選手37名・アマチュア選手13名、合計50名の選手が参加。

ダーツ界の変革に挑戦するべく、ソフトチップのプロダーツ大会を開催させていただきことになり、JDAにとっても新たなチャレンジということで、胸が高鳴る思いで取り組んでまいりました。

初めての開催ですが、皆様の期待にお応えできるよう役員一同全力で取り組み、このプロトーナメントをスポーツイベントとして広く全国に発信していきたいと思っております。

との会長の挨拶で始まり、次に来賓していただいたアシックス株式会社の糸谷雅輝さま、次にHIC株式会社の池谷豪貴さまからご挨拶を賜りました。

選手宣誓は、平成17年度ランキング1位の和田哲也選手が行い、World Darts Championship 2006 日本代表、松永保彦選手の始投で競技を開始。

結果は以下の通り



1位	3018	星野光正	(大阪)
2位	2570	小笠原浩明	(愛知)
3位	3013	久保圭史	(大阪)
	3035	白石祐規	(千葉)
8位	2556	和田哲也	(神奈川)
	2963	手塚武伸	(栃木)
	3004	沼田俊也	(宮城)
	3021	谷田孝夫	(兵庫)
16位	1531	角家元二	(大阪)
	2542	望月洋昌	(静岡)
	2857	矢島陽司	(茨城)
	2956	小林貴之	(栃木)
	2965	陶永清	(栃木)
	2983	小島祐二	(栃木)
	3005	藤澤広次	(宮城)
	3010	佐藤佑太郎	(山形)
32位	1499	松永保彦	(静岡)
	1980	大村慎一	(神奈川)
	2013	富田恭一	(神奈川)
	2017	小谷野君久	(神奈川)
	2413	鈴木力	(静岡)
	2548	星野学	(神奈川)
	2621	山崎伸也	(静岡)
	2855	榊泰浩	(栃木)
	2859	小堀裕	(群馬)
	2987	瀬沼光弘	(東京)
	2990	関本祐次	(栃木)
	2992	菊池一仁	(埼玉)
	3012	浅田剛司	(大阪)
	3015	下澤純二	(大阪)
	3029	廻洋輔	(東京)

今回のソフトチップのプロテスト及びプロ大会は平成19年1月を予定しています。

### 10月は体力づくり強調月間です！！

健康や体力を養うことは、活力に満ちた明るい生活を営むための基盤ともいえるものです。

昭和44年から設けられた「体力づくり強調月間」は、健康や体力づくりに関するさまざまな行事や広報活動などを通じ、国民の健康・体力づくりに対する理解と自覚を深め、体力づくり実践活動の日常生活への定着を促進することを目的としています。

当協会も、体力づくり国民運動の推進に賛同し協力しています。今年度は、神奈川県、愛知県、岐阜県、群馬県にて大会を開催しますのでご参加お待ちしております。